演題名：歯科用CTを用いた骨粗鬆症診断法の開発に関する予備的研究

〇堀　晃二1,2)，新井直也2)

1)紀南病院組合立　紀南病院　歯科口腔外科

2)三重大学大学院医学系研究科生命医科学専攻 臨床医学系講座　口腔・顎顔面外科学分野

【要約】

骨粗鬆症患者は国内に1,200万人以上いると推計され，自覚症状に乏しい慢性疾患であることから検査率や治療率は未だに低く，要介護の大きな要因となっている．本研究では，歯科用CT画像を用いて骨粗鬆症患者と健常者の顎骨を比較し，骨粗鬆症の診断につながる骨構造の変化をみつけることを目的とする．